

リーディングDXスクール事業【実践事例】

北海道帯広柏葉高等学校（北海道）

【取組内容①】 各教科等の特質や学習場面に応じたICT活用による協働的な学びの実践

目的

各教科等において、教科の特質や学習場を踏まえて、効果的にICTを活用し、協議等を行うことにより、協働的な学習のあり方について理解を深め、学校全体で授業改善を図る。

取組の具体

協働的な学びの充実を図るため、各教科等において、Google ClassroomやGoogleスライド、Google Jamboard、無料アプリなどを用いた意見整理や協働制作に取り組んだ。

【国語科・現代の国語（1年）】

人工知能に関する『人間にできて機械にできないこと』の文章を読み、本文の内容をクラウドで同時編集できるアプリを用いてグループでまとめ、筆者の問題提起と結論を導いた。さらに、ワールドカフェにより、各グループの内容を共有し、その内容を論文化してGoogleサイトに公開した。



【外国語科（英語）・論理・表現Ⅱ（2年）】

『Is social media safe?』の単元において、高校生から中学生へ与えるアドバイスを考え、その内容をクラウドで同時編集できるアプリを用いてまとめ、クラス全体で共有することにより、主体的・対話的な学びを促進した。



成果

学校全体で本事業に取り組むことにより、ICT活用に対する教員の意識が変化し、協働的な学習場面においてICTを工夫して活用する教員が増加した。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

北海道帯広柏葉高等学校（北海道）

【取組内容④】 ICT放課後研修会による教員研修

目的

放課後の短時間にICT活用の基本事項に係る研修会を定期的を実施することで、学校全体で教員のICT活用指導力の向上を図る。

取組の具体

自校の教員が講師となり、Google Workspaceや授業で有用なアプリの基本的な使用方法及び授業での活用方法について、1回完結型の研修会を定期的に行った。また、同一テーマでの研修を年度内に繰り返し実施し、研修機会を確保することにより、多くの教員が基本的なICT活用指導力を身に付けることができた。

【主な研修内容】

- Google Classroomの作成方法・課題配信方法について
- Googleドキュメント、Jamboardの共同編集方法について
- Google フォームでのアンケート、小テストの実施方法について
- Google Meetでの画面共有の活用方法について
- Google スプレッドシートの使い方について
- 無料アプリの活用方法について

工夫した点

- 気軽に参加できるように、放課後に短時間で実施。
- 全員に参加を求めず、希望する教員が自主的に参加する研修とした。
- 研修のテーマは自校の実態を踏まえ、基本的な内容とした。
- 教員同士が協働的に取り組む内容を盛り込んだ。
- 管内の他校の教員も研修に参加できるようにオンラインで配信した。

ICT放課後研修会ポスター

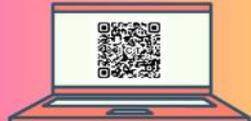
帯広柏葉高等学校 情報部部員 PRESENTS 遅くだけじゃなくてやってみる

ICT放課後研修会

「教育DX、こんな授業をやってみたい！」

1 周目

10月11日水 第1回 「Zoomを練習しましょう」>Google Classroomで1コマの授業
10月18日水 第2回 「これわが導入！」>Padletで発表発表
10月25日水 第3回 「発表を付箋でまとめてコメントしましょう」>Padletで発表発表・質疑・意見交換
11月1日水 第4回 「対話の時間を創出するための教えるを加速する」>プリントとスライドで情報伝達
11月8日水 第5回 「質疑練習しましょう」> 個別最適化
11月22日水 第6回 「問題を演習しましょう」> 個別最適化
11月29日水 第7回 「先生の動画を書き写してください」>Canvaで生徒（たち）がまとめる
16：00～16：30 途中参加、途中退席可
※学校行事の開催などの関係で変更する場合があります。



<https://forms.gle/LhXo2gnuoJJKewyU6>

場所：帯広柏葉高等学校内 空いている教室
もしくは上のQRコードよりGOOGLEFORMに回答。
参加承認後、送られてくる URLより参加可能
途中から参加しても構わない。一貫性のある研修です。
オンラインの方は、帯広柏葉高校と他校の教員もご参加なさることをお勧めします。
内容に異議をお持ちの方、都合がつく方、無断をしないでご参加ください
多くの方にとって参加していただきやすいように、同じ内容を年度内に繰り返します。
開校日に出席する曜日を調整して行います。ニーズに合わせて過半数を決定したいと考えています。



ICT放課後研修会
オンラインで他校の教員も参加

リーディングDXスクール事業【実践事例】

北海道帯広柏葉高等学校（北海道）

【取組内容⑤】 十勝ICT推進プロジェクトによる実践内容の共有と情報発信

目的

十勝管内の高等学校を対象に「十勝ICT推進プロジェクト」を立ち上げ、専用のウェブページによりICT活用に関する実践事例等を情報発信するなどして、学校種（十勝管内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）横断的に情報共有を図るとともに、十勝管内の教員のICT活用指導力向上と児童生徒のICTを活用した主体的・対話的で深い学びの充実を図る。

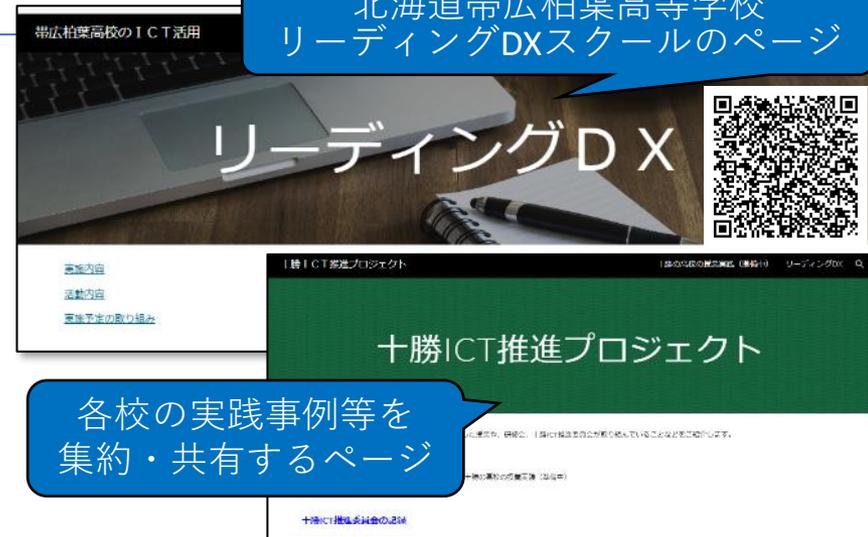
十勝管内



取組の具体

十勝管内高等学校のICT担当者による「十勝ICT推進委員会」を組織し、対面とオンラインのハイブリッド形式の委員会を継続的に開催している。委員会では、参加校のICT活用の取組や課題についての情報交換を行うとともに、研修会の企画などアイデアの創出を行っている。また、11月及び2月には「十勝ICTサミット」を実施し、ICT活用に関する実践発表や研究協議を行うなど異校種間で交流を行った。

北海道帯広柏葉高等学校
リーディングDXスクールのページ



各校の実践事例等を
集約・共有するページ

工夫した点

広域分散型の北海道の特性を踏まえ、DXによる学校間交流を目指した。

十勝ICT推進プロジェクト

十勝ICT推進委員会

十勝ICTサミット

リーディングDX
スクール

ICT放課後研修会

専用ウェブページ

十勝ICT推進委員会



リーディングDXスクール事業【実践事例】

北海道帯広柏葉高等学校（北海道）

【取組内容⑤】 十勝ICT推進プロジェクトによる実践内容の共有と情報発信

第1回ICTサミット(11月)



DX戦略アドバイザーによる講演

管内小学校教諭による実践発表

第2回ICTサミット(2月)



管内中等教育学校教諭による実践発表

参加者による1人1台端末を活用した研究協議



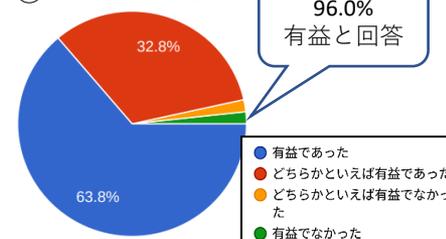
成果

十勝管内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員が一堂に会し研修会を行うことで、学校種の垣根を越えてICTを活用した好事例やICT活用の目指す姿を共有できた。また、研修会参加者が自校で研修内容を共有することにより、十勝管内の教員のICT活用指導力の向上につながった。

【第2回実施アンケート（抜粋）】

- ① 今回の研修会では、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の先生方に参加していただき、異校種での情報交流を行いました。このことについて、どう感じましたか。
- ② 今回の研修会の満足度を10点満点で採点すると何点ですか。

① 意見交流満足度



②

